【2020年4月17日夜のテレビ各局の報道番組の論点別報道の比較】

② 緊急事態宣言の拡大に対する自治体・事業者・住民の反応

|  |  |
| --- | --- |
| NHKニュース7 | ＊羽田空港の国内線ターミナルで自動検温サーモグラフィーの運用開始＊各地の観光地閑散　・感染者が出ていない岩手県でも休業を決めた旅館があることを取り上げ、全国から33件のキャンセルがあったことを伝えた。　・広島県福山市のある飲食店では今月の予約はほぼなく、昼の2時間のみ営業。店頭で弁当や手作りマスクを販売していることを紹介＊各都道府県で休業要請の対応が分かれていることを紹介　・すでに要請を出しているのは初めに緊急事態宣言が出されている7つの都府県と愛知県。5つの府県は明日以降要請。11の県は要請しない考え |
| NHKニュース・ウオッチ9 | ＊「対応分かれる休業要請」というキャッチで報道。全国の知事30人がオンライン会議　・大阪府「賃料の支払いを猶予する法案を国会に要望」　・北海道「感染症が疑われる人の搭乗を断ってほしい」　・徳島、和歌山は休業要請をしない。＊各地の事業者の声　・「店を開けることに罪悪感がある」　・「補償されるのであればまとまって休業した方がよい」　・「補償するから休んでほしいと言ってほしい」 |
| テレビ朝日報道ステーション | ＊各地の知事の賛否の意見を紹介　・岩手県「外出規制は遅くならないよう検討する。国に休業要請の具体的な基準を示してほしい。」　・鳥取県「47人の知事が志を決めた。ワンチームになった。西村大臣もワンチームに入ってほしい。」　・島根県「東京はできるけど他はできないというアンバランスを許していい問題ではない。」＊各地の事業者の声を紹介　・「もうなりたたんわ。努力のしようがない。お客さんあっての私やからね」（京都市タクシー運転手）　・「どうやって耐え忍んでいくか」「補償があれば休みやすい。だけど、補償がないから休まないってわけでもない。これは難しい問題」（名古屋市居酒屋オーナオー）　　→ (ナレ)「愛知県は飲食店に対し、営業時間を午後8時までとする要請に応じた店には一律50万円の協力金を給します。」＊政府の諮問委メンバーから「特定警戒都道府県とそれ以外の区域を分ける議論はしたことがなく、寝耳に水だ」という声も出ていることをナレで紹介 |
| TBSニュース23 | ＊小川「自治体によっては戸惑いの声が」　・徳島県知事(全国知事会会長)「今後の感染拡大をなんとしても抑制するためには〔全国拡大は〕やむを得ない。」　・秋田県知事「外出制限といっても秋田の場合、郡部については普通の時も人が歩いていないので、あまりピンとこない。」＊山本アナ「懸念されているのは休業要請が出された地域から出されていない地域への人の移動」　→鎌倉、逗子、葉山などの海岸沿いの道路が渋滞している動画。これらの市では公営駐車場を閉鎖したことを伝えた。　→パチンコ店へ他地域からやってきた市民の声「私はパチプロとして生活しているので、困る。」 |
| 醍醐コメント | ＊4つの番組とも、各地の知事の多様な反応、事業者の戸惑い・窮状を伝えた点は共通していた。＊ただし、報道ステーションが「特定警戒都道府県とそれ以外の区域を分ける議論はしたことがない、寝耳に水だ」という政府諮問委員会メンバーの声を伝えたのは、安倍首相が折に触れて、「専門委員の方々のご意見を踏まえ」と語っている中で、注目された。＊また、ニュース・ウオッチ9と報道ステーションが「休業要請」のバラツキだけでなく、休業補償をセットで求める声を伝えたのが目についた。 |